

従業員とともに

～ ISO26000 7つの中核課題:労働慣行、消費者課題 ～

▶ 基本的な考え方

保土谷化学グループが目指している、「グローバル・ニッチ分野でオンリーワン・ナンバーワンのスペシャリティ製品を創出し続ける企業」を実現するために、環境変化に対応できる柔軟で適正な「人事制度」の構築と推進、従業員一人ひとりがより効率的にその能力を発揮できる「人材配置」、将来の事業拡大も見据えた適切な「人材の採用」、自ら考え、調べ、行動する人材育成のための「教育制度の拡充」の4つに取り組むことを基本的な考え方としております。

▶ ダイバーシティに関する取り組み

保土谷化学グループでは、年齢、性別、国籍などにかかわらず、幅広い分野において、多様な人材が活躍しております。

● 女性従業員の活躍

当社グループでは男性・女性の区別無く、本人の能力やスキル、経験に応じて、管理・監督層を含む、あらゆる場面での活躍を期待しています。

2016年度からの3カ年の目標として、①新規採用応募者に占める女性の割合を30%以上、②女性採用者の割合を20%以上、③管理職に占める女性割合を10%以上、を掲げましたが、2018年度はいずれも達成しました。

特に管理職につきましては、部門長や工場管理部長といった職務に励んでおり、2019年3月31日時点では、全管理職に占める女性の割合が11.2%となりました。

● 外国籍従業員の活躍

当社グループでは、事業のグローバル化に対応し、国内外で外国籍の従業員が活躍しております。活躍の場面も製造、研究開発、販売、管理と多岐にわたり、2019年3月31日時点で、外国籍の従業員数は134名(18.3%)となっております。

● 障がい者雇用率向上に向けた取り組み

障がい者雇用については、雇用率の目標2.2%達成に向け、事業所近隣の学校等の訪問による採用活動や、ハローワーク、民間の支援機関との情報交換、人材派遣会社からの紹介等により候補者を選定し、試用期間を設けて各事業所で体験就業を実施しております。

● 中高年の再チャレンジの支援の取り組み

定年退職者を対象に「再雇用制度」を導入し、希望する従業員を対象にしたシニア従業員制度を設けております。2018年度は、定年退職者の内の約80%がこれまでの経験を活かしてさまざまな分野で継続して活躍しております。

Voice



研究開発部 知的財産室長
陳 進

外国籍管理職として、母として

私の担当分野は特許実務ですが、専門性が高く、責任感が求められます。仕事をしていく上で、日本国内外の知的財産関係の法律的知識や担当分野に関連する技術的知識の習得も必要とされます。そんな中で外国籍の女性管理職という責任とプレッシャーは少ないとは言えませんが、女性ならではの感覚や、外国人ならではの語学力を活かし、知的財産活動の実務管理をしながら、国内外特許業務の対応を行っています。

また、夫婦共働きで小学生の子供がいるので、仕事と家事の両立に苦勞する時も沢山ありますが、さまざまな育児支援をするための施策を利用し、職場の仲間の支えがあるおかげで、フルタイムの仕事ができています。

これからも、性別や国籍などを意識せず、さらに当社の発展に自分の力で貢献したいです。



▶ ワークライフバランスに関する取り組み

「保土谷化学グループの更なる成長」と「従業員の働きがいの向上」の両立を目指し、多様なライフスタイルを大切にしながら、意欲的に働ける環境づくりを進めております。そのための各種制度・施策の導入により、従業員が生産性の高い働き方を実現し、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を図ることができるよう取り組んでおります。



制度の詳細は、ホームページに掲載しております。

<https://www.hodogaya.co.jp/csr/stakeholder/employee#a9>



● 育児・介護

妊娠中から子育て期間中の短時間勤務や育児休業、子供が病気になった時の看護休暇など、育児に関するさまざまな制度を導入しております。また、そうした制度をより理解・活用してもらえるよう、妊娠・出産・育児に関連した社内制度や経済的支援、必要な手続きを説明し、周知を行っております。配偶者の出産に際しても、慶弔休暇を取得することで対応できます。

介護に関しても、介護休業や介護休暇の制度を導入しております。

また、2018年度には、育児・介護等による自己都合退職者を対象とし、新たに「カムバック・エントリー制度」という名称の再雇用希望者登録制度を導入しました。

● 時間外労働削減

労働時間削減の取り組みとして、毎週、水曜日と金曜日を「ノー残業デー」に設定し、定時での退社を指導しております。併せて、本社では「最終退社時刻21時」を推進しており、制度化されていないものの、12時間の勤務間インターバルが取れるようになっております。

また、フレックスタイム制は2016年度から本社の管理部門の一部への適用拡大も開始しました。時間外労働の削減と作業効率に効果が見られ、今後も適用部署の拡大を検討しております。

これら取り組みの推進にあたっては、勤怠管理システムを導入し、各部門で時間外労働の管理ができる仕組みになっております。

● 年次有給休暇

年次有給休暇は半日単位での取得も可能になっており、取得率については60%以上の水準にあります。更なる向上を目指した諸制度の検討を進めていきます。

消化することのできなかった年次有給休暇は、「傷病積立年休」として積み立てられます。

「傷病積立年休」は、私傷病だけでなく、介護、ボランティア活動等の目的での使用が可能です。

● リフレッシュ休暇

「リフレッシュ休暇制度」は、年次有給休暇とは別に、営業日5日間を連続して休暇取得できる制度です。週末の土曜日・日曜日を組み合わせれば、さらに大型での連休となり、心身のリフレッシュを目的としております。

「リフレッシュ休暇」の取得前に、年次有給休暇の一定日数の取得を義務づけており、年次有給休暇とリフレッシュ休暇のバランスの取れた取得を推進しております。

● 新幹線や特急列車を利用した通勤

長距離通勤者の通勤時間の緩和と時間の有効活用や、居住地の選択肢を広げることなどを目的とし、通勤に新幹線や特急列車が利用できる制度です。適用には、通勤時間や通勤距離等の一定の条件がありますが、ワークライフバランスの拡充策の一環として利用されております。



▶ 教育プログラムの拡充

経営理念の実現に向けて、高い視点から広く物事を捉え、状況の変化に柔軟に対応できる人材の育成を目的とした教育を、体系的に行っております。

従業員全員を対象とした「保土谷パーソン一般研修」では、保土谷化学グループの社員として必須な基本知識の付与や実務レベルの向上を図る教育として、「コンプライアンス研修」「CSR研修」「ダイバーシティ研修」などを行っております。

要求される能力や資格要件を満たす適正な人材配置を行っており、部長・課長・係長などへの昇格に合わせ、職位毎に必要な知識の教育を行う「職位別研修」「マネジメント研修」など、職務遂行能力の向上を図る教育を行う「職務遂行能力別研修」、営業・開発・製造など職務別に、その職務の遂行に必要な能力向上のため、技術者研修などの教育を行う「職種別研修」があります。

また、多様な人材・個性が集まっている、質的な厚みと広がりのある集団づくりのため、国際化に対応すべく人材の育成として、日常の外国語語学研修のほか、英語圏・中国語圏・韓国語圏に留学し、語学研修に加え留学先の言葉での実務研修も行う「トレーニー制度」があります。

2018年度には、2018年度入社の新入社員と2019年度入社内定者全員が、韓国所在のグループ会社 SFC CO., LTD.を訪れ、「国際化研修」を行いました。

自己啓発支援として、資格免許取得のための支援、通信教育を利用した積極的な学習の支援、WEBを利用したe-ラーニングの受講支援等も行っております。e-ラーニングについては、全従業員が年間2テーマ以上受講しております。

▶ 健康維持とケア体制の強化

保土谷化学グループは、レスポンシブル・ケア (RC) 基本理念、基本方針に基づき、健康経営を推進しております。従業員全員が健康に働けるように、保土谷化学健康保険組合とともに心身の健康推進の支援を積極的に行っております。

健康診断については、全員受診を目標に取り組んでおり、2018年度の一次検診は受診率100%を達成し、二次検診についても該当者全員が受診しました。また、各事業所において、産業医との面談を実施しており、従業員の健康状態について、会社と産業医が情報を共有し症状の改善や重篤化の防止に努めております。

メンタルヘルスについてはストレスチェックを継続して実施しており、2018年度も実施率100%を達成しました。また、ストレスに対する知識や対処法などを目的に、全従業員を対象に「セルフケア研修」、上長などの管理者向けの「ライン研修」を実施し、ストレスに対して、本人の目線、周りの目線の両面から学び、適切な対処法について理解を深めております。

Voice



保土谷(上海)貿易有限公司
此下 敏生

上海仕事体験記

私は入社5年目の2015年4月から1年間の上海での海外語学研修(トレーニー制度)を経て、現在は上海にて主に自社の染料製品の中国国内での営業活動を行っております。上海生活は早いもので3年半が経ちました。

当時は、初めての海外生活に戸惑うことばかりで、中国語はほとんどゼロからの学習スタートでしたが、おかげさまで、語学の勉強に集中できる環境が整っていたので、否応なしに中国語の学習に取り組めたことが、現在の大きな力になっていると感じています。

中国は発展のスピードが非常に速く、変化のスピードに戸惑うことも多々ありますが、同僚や現地スタッフの支えのおかげで、異国でもなんとか仕事できております。

若いうちに海外での仕事の経験を積ませてもらえるのは非常に貴重で貴重なことであり、日本では滅多にお会いできないような方と交流ができるという点は、海外で仕事をする上での醍醐味であると思いますので、今いる場所ですることによって日々取り組んでいきたいと思っています。以上、謝謝!